2023 年 1 月 26 日
ペッツファースト株式会社

CSR 活動「Pets always come first プロジェクト」聴導犬・介助犬育成支援活動 ～ペッツファースト初となる介助犬と、12 頭目の聴導犬が誕生！～

“Pets always come first”を理念に掲げるペッツファースト株式会社は 2016 年より CSR 活動「Pets always come first プロジェクト」として、公益財団法人 日本補助犬協会への聴導犬育成支援を行っており、2022 年より介助犬の育成支援も開始いたしました。そしてこの度、2022 年 12 月 11 日の第 37 回身体障害者補助犬認定審査会において、初の**”ペッツファースト介助犬”**と 12 頭目の**“ペッツファースト聴導犬”**が誕生しました。

■ペッツファースト介助犬「ブラッドくん」、ペッツファースト聴導犬「姫ちゃん」誕生！

12 月 11 日に行われた第 37 回身体障害者補助犬認定審査会において、ペッツファーストが育成支援した介助犬「ブラッドくん」と聴導犬「姫ちゃん」が見事、審査を合格し正式に介助犬・聴導犬として活動を開始しました。

【介助犬 ブラッドくん】

名前：ブラッド
性別：男の子
犬種：ラブラドール・レトリーバー
訓練開始日：2022 年 4 月 15 日
介助犬認定日：2022 年 12 月 11 日
性格：落ち着きがあり友好的。幼児からご高齢者まで優しくコミュニケーションをとりながらお友達になろうとする優しい性格。訓練センターでも犬たちに信頼されるまとめ役でした。
特徴：大型の男の子で頭もお口も大きいので、介助犬として物を運ぶのがとても上手です。身体は真っ黒ですが、お口周りの若白髪も可愛いと人気です。

【聴導犬 姫ちゃん】

名前：姫
性別：女の子
犬種：マルプー（マルチーズ×トイ・プードルの MIX 犬種）
訓練開始日：2022 年 4 月 15 日
聴導犬認定日：2022 年 12 月 11 日
性格：好奇心旺盛で主体性を持って行動するタイプです。生活の中の音を注意深く聞き取り、確認しにいく手間を惜しみません。訓練センターでは犬のお友達と遊ぶよりも担当訓練士と遊んでいました。
特徴：小型の女の子で、音を聞き洩らさず知らせるのが上手です。毛色は綺麗なアプリコットで、子犬の頃には目立たなかった胸の真っ白な模様が可愛いと人気です。
※姫ちゃんは、ペッツファーストが寄贈した「寄贈犬」です。

※ペッツファースト聴導犬・介助犬とは…ペッツファーストが寄贈や育成支援を行った犬。

■聴導犬・介助犬とは

視覚・聴覚、身体の一部が不自由な方のサポートをする犬を「補助犬」といい、聴覚が不自由な方の生活をサポートするのが「聴導犬」、身体の一部が不自由な方のサポートをするのが「介助犬」です。

聴導犬は、ドアのチャイムや携帯電話の着信音など、家の中での音の発生を知らせ音の鳴る場所まで誘導し、介助犬は落ちた物を拾う、指示された物を持ってくるなどの仕事をしてユーザーの方の生活を支える大切なパートナーです。

しかし、日本では“盲導犬の実働頭数が 848 頭”に対して、“聴導犬は 58 頭”、“介助犬は 53 頭” （厚生労働省 令和 4 年度 10 月の報告より引用）と、まだまだ頭数が少ないのが現状です。

また、施行から 20 周年を迎えた「身体障害者補助犬法」により交通機関や施設等への補助犬同伴受け入れが義務付けられているものの、同伴への理解が進まないことが課題とされています。

■ペッツファーストの聴導犬・介助犬育成支援について

2016 年から聴導犬、2022 年から介助犬の育成支援を行っています。私たちは、ペットとお客さまの双方に幸せな暮らしをお届けすることを事業の目的としています。そこでペットを販売するだけでなく、補助犬の分野にも携わり社会に貢献できないかと考えて発足したのが「聴導犬・介助犬育成支援」でした。さらに、候補犬の提供は、多数のペットを扱うペッツファーストだからこそできる支援であり、普及促進や育成活動に直接貢献できると考えています。

▼ペッツファーストの主な支援内容
①候補犬の寄贈
→聴導犬の候補となる子犬を日本補助犬協会へ提供しています。
②実働聴導犬の活動支援
→すでに聴導犬として認定を受けている聴導犬の支援を行っています。
③聴導犬候補の訓練支援
→すでに適正があると認められ訓練を開始している候補犬の訓練期間中の支援を行っています。

これまで日本補助犬協会と協働で活動を行い、11 頭の聴導犬を育成してきました。今後もまだまだ認知度が低い聴導犬と介助犬の普及促進・育成支援活動を行ってまいります。

■ブラッドくんをパートナーとするユーザーの方より一言

この度は、ブラッドとの認定試験に向けて多方面からの応援を頂き、有難うございました！お陰様で合格することができました。とても感謝しております。

ブラッドは、私にとって三代目の介助犬になります。7 年前に二代目の介助犬エリックと臨んだ認定試験の時に比べ、犬のコントロール法も進化していましたし、エリックとの生活に慣れ親しんだ上での試験だったので、大変ではありましたが良い意味で頭の切り替え、リフレッシュになりました。

振り返ると、ペッツファーストの皆様方の応援は心強く、また日本補助犬協会で訓練を受けたブラッドはやはりとても優秀で、私を合格へ導いてくれたと思っています。

岩手でのブラッドとの生活は 1 ヶ月過ぎましたが、ブラッドは環境の変化をさほど気にせず意欲的に過ごしています。これから、少しずつ始まる学校での授業や地域の集まり、身体障害者補助犬法の啓発活動に勤しんで参りたいと思っています。

ブラッドと共に益々がんばりますので、皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

■**Pets always come first プロジェクト とは**
「すべてのペットと関わる人を笑顔にする。」をコンセプトにペッツファーストグループが行っているCSR 活動の名称です。“聴導犬・介助犬育成支援”だけでなく、“保護犬・猫の里親探し”、“災害救助犬への支援”、“マイクロチップの普及活動”、“遺伝性疾患・伝染性疾患の大学との共同研究”などの活動を行っています。これらは、ペッツファーストでお迎えいただくごとに、1 頭あたり 1,000 円と、動物病院事業やペットホテル・トリミングの売上の一部をプロジェクトの活動資金としています。
ペットの総合企業としてペットとの共存社会を豊かに、ペット業界における社会的課題の解決を目指し継続的に取り組んでいます。